

# SDGs イノベーション道場

主催 神戸情報大学院大学  
実施 Tankyu-X Institute

開催期間  
2021年9月から2022年2月  
(全8回オンラインで開催)

お問合せ・お申込み先  
神戸情報大学院大学(KIC)事務局  
info@kic.ac.jp

最新技術を用いてSDGs達成に貢献するビジネスモデルを構築する力を、ハンズオンで身につける実践的研修プログラム。SDGs x イノベーションの事例を探究し、AIやビッグデータなどを使いこなせる素養も身につけます。

## 本プログラムで獲得する力

- 社会課題解決イノベーションの事例を調査分析し、その本質を見抜く力
- 創造的な発想力と、そのための観察力・質問力・視野の広さ・結びつける力
- AI・IoT・ビッグデータ等の最新技術についての知識を持ち、課題解決への応用を企画する力
- 世界の動きをテクノロジーを用いて分析し、事業企画や政策立案に活かす力



## 本プログラムの特徴

- 異なるバックグラウンドを持つ多様な人と、課題解決を考える
- 課題解決のためのインテリジェンスを学ぶ
- AIを活用したアイデアを考え、他の参加者や講師と共にソーシャルグッドを目指す
- SDGs、Tankyu Method、AI等の知識がなくても、全体像が分かるようになる
- 実務家から丁寧なサポートを得る
- 生み出した企画への、情報や人脈の提供を受ける
- 世界のルールトレンドが可視化されている情報プラットフォーム、Rulewatcherに参加する
- Tankyu Methodを学んだ世界中の仲間が集うコミュニティに入る

## 受講頂きたい方（定員20名）

- 企業で新規事業企画に関わる方
- 官公庁及び関連団体等で政策立案に関わる方
- 社会課題解決に興味のある個人の方

技術を用いて社会課題解決を实践したい方に幅広くお集まり頂き、互いの専門性を生かし貢献し合い、切磋琢磨していきます。



## 神戸情報大学院大学（KIC）について

- 国内で最も長い歴史を有すコンピュータ技術の教育機関、神戸電子専門学校が開学した専門職大学院
- ICTを活用して諸問題を解決できる人材を実務家教員が育成
- 途上国からの社会人留学生多数在籍（現在までの留学生数累計314名、出身国累計72カ国）

## TANKYU-X INSTITUTEについて

- 神戸情報大学院大学が設立した、日本企業及び途上国での社会イノベーション事業を支援する（株）Tankyu-Xのシンクタンク
- 国内及び途上国における人材ネットワークや、社会イノベーションに関する知見を活用
- 人材育成、コンサルティング、事業推進支援実施

# 講師陣



## メイン講師：炭谷俊樹

神戸情報大学院大学（KIC）学長  
ビジネス・ブレイクスルー大学客員教授  
ランネット・グローバルスクール代表

KICでの実践はもちろん、これまで自分自身や指導した方々の起業の事例を多数経験してきました。それらを通じて得られたノウハウを注ぎ込んだ集大成といってもいいプログラムです。社会人経験がある多彩な国からの留学生とコラボすることで大きく視野も広がります。皆様のご参加をお待ちしています！



## 講師：小田真人

神戸情報大学院大学客員教授  
(株)オシンテック代表取締役

ビジネスの成否を決める大きな要素は、タイミングです。テクノロジーを味方につけて、インテリジェンスという手法を使いこなし、世界情勢と事業のタイミングを読み解けるようになりましょう。そして、国境を越えてくる21世紀の問題に立ち向かっていきましょう。講座では、インテリジェンスのエッセンスを短期間で体得して頂きます。



## 講師：小塩篤史

神戸情報大学院大学客員教授  
(株)IF代表取締役  
(株)Four H代表取締役  
(株)HYPER CUBE取締役  
総務省地域情報化アドバイザー

AIをどのようにSocial Goodのために使うのか、大きな課題となっています。そのためには、技術者の視点だけでなく、探求者としての視点が重要であり、データサイエンス・機械学習の研究者とビジネス開発の経験をベースにした講義を通じて、新しいAI活用の方法をみなさんと探っていきたいと思えます。

# プログラム概要

## 実施形態

- 2021年9月～2022年2月
- 約3週間に1回の参加型プログラム
- 金曜午前、1回3時間オンラインで実施

各回の間にも事前講義視聴と課題への取り組みが必要となります。

## 参加費用

お1人様 税別40万円

(一企業から5名以上参加される場合はディスカウント有り)

## 前半プログラム

第1回：2021/9/17

イノベーションと探究チャート

第2回：2021/10/8

ゲームチェンジを味方にする

第3回：2021/10/29

AI for Good

～SDGsのためにAI・ビッグデータを使いこなす

第4回：2021/11/19

創造的発想法

～イノベティブな解決策を生み出す

## 後半プログラム

第1回：2021/12/10

第2回：2022/1/7

第3回：2022/1/28

第4回：2022/2/18

グループ（混成チーム）を決めた後、グループワークとして取り組む現実のSDGs課題と対象地域を決定します。

学んだ手法を応用し、課題の要因を掘り下げ、技術を用いた解決策の立案、検証によるブラッシュアップを行い、構築したビジネスモデルの企画案を最終回でプレゼンします。

日程の都合で前半のみ参加可能な方はお問合せ下さい。

## 前半プログラム第1回 9月17日 イノベーションと探究チャート

### 目的

- 参加者同士が互いの興味や強みを知り合う
- SDGsが社会や企業経営の中で占める重要性を理解する
- イノベティブな解決策立案の鍵となる「探究チャート」の使い方をマスターする

### 内容

- 自己紹介セッション  
事前に共有した自己紹介及び興味ある社会課題について話す
- 講師レクチャー  
社会課題解決とSDGsが企業経営において本質的に重要になっていることや、課題解決の難しさや面白さを、データや事例およびワークを通じて講師が解説する
- イノベーション事例探究  
受講生がイノベーション事例を事前に調査し探究チャートとしてまとめ発表し、何がイノベーションの鍵かディスカッションする
- 興味ある社会課題の共有  
受講生が興味ある社会課題の解決策仮説を探究チャートで共有する

### 講師からのメッセージ

社会課題解決事例の分析・実践で15年に渡り洗練されてきた「Tankyu Method」のコアである探究チャートを、事例研究や思考整理に自ら使うことを通じて、社会課題解決の全体感やイノベーションの鍵となるポイントを、主体的・体験的に把握していきます。特に課題解決と技術（および技術以外の要素）の関連性を理解します。プログラム中は、多様な経験を持つ受講生同士が異なる視点を持ち寄ることにより、受講生一人一人の視野が広がっていきます。

## 前半プログラム第2回 10月8日 ゲームチェンジを味方にする

### 目的

- SDGsを戦略的側面から理解する
- 日々の情報に溺れることなく意味を見出すインテリジェンスを学ぶ
- 非市場戦略の概念を知り、企画・行動のタイミングと関連付ける

### 内容

- 事前課題（動画）  
SDGsに関する世界の動きに関して講師が解説する  
経済の変容について、影響とそのスピードを観察し、考える
- 講師レクチャー  
インテリジェンスを体験、事例や現在起きている事を元にして学ぶ  
ゲームチェンジを理解し、何がそのゲームチェンジをリードしているかの構図を把握する
- 未来シグナル探究  
事前課題により、受講生が気になるニュースをピックアップし、そこから思考を広げていく  
これを発表、その可能性についてグループでディスカッションする
- 興味のある課題の深化  
受講生自身が、ゲームチェンジにより近未来に自分のフィールドに  
どのような変化が起きるかを考える  
探究チャートをブラッシュアップする

### 講師からのメッセージ

我々は、テクノロジーで言語の壁を破れる人類初の世代と言えるかもしれません。先端の情報収集～情報活用の行い方、情報の扱い方を体験することにより、自分の問題意識のフィールドに対する空間的・時間的な観点を持てるようになります。日本では学べる所の少ない非市場戦略とインテリジェンスを中心に体験し、世界の動きを味方につけられるよう、探究チャートのブラッシュアップを行ってみましょう。

## 前半プログラム第3回 10月29日

### AI FOR GOOD ～SDGSのためにAI・ビッグデータを使いこなす

#### 目的

- AIの基本的な動向と応用範囲を理解する
- AIやデジタル技術のSDGsへの貢献可能性を知る
- AIを活用して自分なりのアイデア・企画の作り方を体感する

#### 内容

- AI入門  
現在のAIの動向と基本原理、AIができることを講師が解説する
- AI for Good 事例紹介と討議  
途上国のSDGsにAIが貢献している事例を講師が解説し、AI活用の基本的な視点やあり方について議論する
- AIアイデアの検証  
事前課題であるAIアイデアを議論し、AIを活用した課題解決術に関して体感する

#### 講師からのメッセージ

AIの研究者・社会実装家として、様々なAIの開発とビジネス構築に取り組んできた経験をベースにした講義により、AIの本質と活用のためのポイントを濃縮してお伝えします。

そのうえで、AI活用のフレームを通じて、AIの企画を考え討議することで、自らの課題解決の武器としてAIが活用できる思考法を体得していただければと思います。

## 前半プログラム第4回 11月19日

### 創造的発想法 ～イノベティブな解決策を生出す

#### 目的

- 具体的な社会課題に対して、イノベティブな解決策の発想ワークを行うことを通じ、創造的発想のコアスキルである観察力、質問力、連想力のコツを習得する

#### 内容

- 事前レクチャー（動画）  
講師が実際に課題を分析して解決策を発想したプロセスを解説、これを見て参考にする
- 課題解決発想ワーク  
小グループに別れ、興味のある課題について課題分析から解決策立案のワークを行い、発表する
  - a. 観察＋質問力セッション
  - b. アイデア出しセッション
  - c. 発表とディスカッション現在までのSDGs道場で取り組んだ課題例：貧困スパイラルからの脱却・災害時の避難対策・CO2排出ゼロに向けたエネルギー政策

#### 講師からのメッセージ

日常は論理的・分析的な仕事を行っている方でも、練習により創造的なアイデアを生み出せることが、10年に渡る神戸情報大学院大学及び企業内研修での実践を通じ実証されています。

イノベーションはスティーブジョブスなど特定の人だけではなく、だれでもが生み出しうるものであることを本セッションを通じて実感できるでしょう。ただし、コアスキルは一日でいられるものではなく、継続的な鍛錬が必要です。

## 後半プログラム

第1回12月10日 第2回1月7日 第3回1月28日 第4回2月18日

### 目的

- 解決したい課題について、グループでイノベーティブな解決策を数カ月間で立案する
  - a.前半の第1－4回で学んだ内容を総動員し、解決策の仮説を探究チャートでまとめる
  - b.Tankyu Methodの3つの検証方法を実施し、仮説をブラッシュアップする
  - c.提案資料を作成し、プレゼン、ディスカッションを行う

### 内容

- 【第1回】課題設定・仮説と検証計画作成  
各グループで取り組む課題と対象範囲を明確にする  
イノベーティブな解決策の仮説を探究チャートで作成する  
仮説を検証するための情報収集(インタビューや事例調査)の計画、分担を行う
- 【第2回】仮説のブラッシュアップと検証計画の追加  
検証計画で集めた情報に基づいて、仮説をブラッシュアップする  
収支のシミュレーションを行う  
追加の仮説検証計画を作成する
- 【第3回】仮説検証と提言資料まとめ  
追加検証に基づいて、仮説を更にブラッシュアップする  
提言内容をまとめ、プレゼン資料を作成する
- 【第4回】提案プレゼンテーションとディスカッション  
各グループでまとめた提案内容をプレゼンテーションする  
プログラム参加者の企業の経営者や神戸情報大学院大学（KIC）教授などからの質疑を受け、ディスカッションする

### 講師からのメッセージ

KICの経験やリソースを活用しながら、課題解決策の立案に実践的に取り組むことを通じ、仮説作成と検証のプロセスであるTankyu Methodを主体的・体験的に習得できます。プログラム中には経験豊富な講師が付き、実践的なアドバイスをを行います。また、有力な提言については実現に向けてプロジェクト化します。